

会 議 録

附属機関名	おいらせ町行政経営推進委員会		
回次	令和元年度 第2回		
日時	令和元年11月1日(金曜日) 13時58分から16時00分まで		
場所	おいらせ町役場 本庁舎2階 201会議室		
出席者等	行政経営 推進委員 (敬称略)	出席者	田中 哲 松井 克明 苜米地義之 浅野 邦子 深堀 信之 小向 憲次 中野 勝美
		欠席者	佐々木和憲
	事務局	局長	総務課 課長 泉山 裕一
		次長	総務課 課長補佐 鈴木 政康
		担当	総務課 主任主査 川口 優香子
次第及び 進行	<p>13:58 開会 委員長あいさつ</p> <p>14:00 次第1 町財政状況について</p> <p>14:15 次第2 令和元年度事務事業評価の実施について</p> <p>14:22 休憩</p> <p>14:34 再開</p> <p>14:57 次第3 行政経営アクションプランの評価・検証 (1)町議会と行政の協働による政策の形成の推進について (2)各課の創意工夫による予算要求段階からの経費削減について (3)業務量の把握、職員の適正等を踏まえた人事配置</p> <p>15:55 次第4 今後の予定</p> <p>16:00 閉会</p>		
説明者	次第1 町財政状況について		
	説明者	財政管財課 課長 岡本 啓一	
	次第2 令和元年度事務事業評価の実施について		
	説明者	政策推進課 課長 成田 光寿, 政策推進課 主幹 木村 英樹	
	次第3 行政経営アクションプランの評価・検証		
	(1)説明者	総務課 主幹 成田 和久	
(2)説明者	財政管財課 課長補佐 岩崎 良昭		
(3)説明者	総務課 課長補佐 鈴木 政康		
次第4 今後の予定			
説明者	総務課 主任主査 川口 優香子		

発言要旨

開会	
事務局	ご案内の時間より少々早いですが、委員会を開催します。本日はお忙しいところご出席いただきありがとうございます。開会にあたり修礼を行いますので、ご起立願います。
一同	よろしく願います。
事務局	ご着席願います。ただいまから、おいらせ町行政経営推進委員会を開催します。事前に資料配布をしていますので、次第に沿って進めます。委員長からごあいさつをお願いします。
委員長あいさつ	
委員長	皆さん、こんにちは。大変お忙しい中、おいらせ町行政経営推進委員会に出席賜りまして誠にありがとうございます。 さて、次第にございますように、本日は町財政状況についての説明と、令和元年度事務事業評価の実施について、行政経営アクションプランの評価・検証が案件にあがっております。委員の皆様には忌憚のないご意見等をいただきますとともに、時間も限られておりますので、円滑な議事進行に御協力賜りますようお願い申し上げ、私からのあいさつといたします。よろしく願います。
委員紹介	
事務局	今回の委員会から出席の委員をご紹介します。
E委員	8月の第1回委員会は事業と重なっており出席することができず、申し訳ございませんでした。これからどうぞよろしく願います。
事務局	ここからの議事進行は、委員長をお願いします。
次第1 町財政状況について	
委員長	暫時、私の方で進行をさせていただきます。 次第1、町財政状況についてでございます。当町の財政状況について、委員会の情報共有化を行います。なお、情報提供になりますので質疑の時間は設けませんのでご了承願います。それでは、説明をお願いします。
説明者	財政管財課長の岡本です。よろしく願います。情報共有という趣旨で、町の財政状況について説明させていただきます。 資料1「町財政状況について」、資料1参考資料「財政用語の説明」を使用して説明いたします。なお、資料の中で太字表記の用語については、参考資料に説明を掲載していますので併せてご覧ください。(説明資料:資料1、資料1参考資料) 以上で説明を終わります。
委員長	ありがとうございました。次第1は、以上で終了します。
次第2 令和元年度事務事業評価の実施について	
委員長	次第2は、政策推進課から事務事業評価の報告を受けた後、それぞれの事業について当委員会の意見を伺いたいということです。説明をお願いします。
説明者	政策推進課長の成田と主幹の木村です。資料2に沿って説明してまいりますのでご用意願います。(説明資料:資料2、資料3) 今年度は、36事業について評価をしています。そのうち、この委員会で意見をいただきたいのが4事業です。詳細は、担当から説明します。

説明者	政策推進課の木村です。よろしくお願いします。資料 4No.1 から説明いたします。 (説明資料:資料 4)以上で説明を終わります。
委員長	ありがとうございます。事務事業評価の実施について説明を受けました。対象の 4 事業について、おおよそ 10 分程度を目安に意見を伺いたと思います。 発言の際、質問あるいは意見の趣旨を簡潔にお話いただくようお願いします。な お、賛否を問う意見交換ではございません。その点、ご了解願います。 はじめに、「弔電送付事務事業」についてご意見を賜りたいと思います。
D委員	(本委員会の委員構成に対する発言あり。案件以外のため省略) よろしいですか、本題に入らせていただきます。すべてに共通なんですが、見直し による効果、ここには財政効果、例えば弔電では 8 万 9 千円ですと。従事時間は 72 h軽減しますと書いてあります。この財政効果という意味は、直接費用、間接費用ト ータルの金額換算でしょうか。私から結論を言わせてもらおうと、従事時間 72hというの は 1 時間あたり 1,900 円で計算すると 13 万 6 千円になるんですよ。これが全部なくな ると、財政効果として 13 万 6 千円プラス 8 万 9 千円だと思っんです。 例えば、日本一のおいらせ鮭まつりというのがあります、ものすごい金額なんで す。財政効果 558 万、従事時間 4,464hも削減すると書いてある。4,464hを時間あた りの費用 1,900 円でかけると、848 万円です。ということは、財政効果 558 万円だけじ ゃなくて、役場の間接コストは 800 万も減るとのことなんですよ。(「いや、コストと 従事時間を分けて書いてあるのは、働き方改革の効果として」の声あり) 私が言いたいのは、効果としては 848 万という金額だけではなくて、従事時間を金 額換算にして 1,300 万円位の効果になると。それが最終的な効果だと思っんです。 それでよろしいでしょうか。
説明者	今おっしゃっている 1,300 万円というのは、どれを積み上げた金額ですか。
D委員	だから、財政効果だけで 558 万あります。(「鮭まつりの話ですよ」の声あり)これ が一番わかりやすいので。私は、全部共通した案件として質問しているんですが、財 政効果とすれば 558 万じゃなくて本当は 4,464hの 840 万位をトータルすると最終的 な財政効果になるんじゃないですか、という表のまとめ方の確認です。 (説明者「資料 3 のことですか」) これはほかにも当てはまりますよ。だってNo.3 は 72hで 13 万位になるんだから、8 万 9 千円プラス 13 万で 20 万近くのトータルコストが節減できるという解釈でよろしい ですか、ということです。
A委員	動いている時間を単価にすればいくらかということだけですよ。 (D委員「そういうことです」)
説明者	資料 3 に記載の財政効果は、個票でいう直接コストのみを表しています。 資料 4 の調査シートを見た方がわかりやすいかと思うのですが、トータルのコストは どれくらいだということを見たい場合は、個票の支出の下の欄を見ればわかると思っ ます。よろしいでしょうか。
D委員	了解です。であれば、この 8 万 9 千円とか、72hっていうのはどっから来たんです か。どこにも 72hという数字は出てきません。
説明者	財政効果の 8 万 9 千円減は、直接コストを見ると 88,800 円とありますので、 (D委員「それはいいんです、72hってどっから出てきたんですか」) 事務事業評価シート(3)には、弔電以外の業務も記載しています。例えば、世帯 情報確認はレタックスがなくても必ず確認をしなければならない業務になります。 (D委員「36h を引いた数」) そうです。決裁・コピーの従事時間を除いた、レタックスを送付するにあたっての時 間が72hという部分になります。その時間が軽減されるということです。

D委員	<p>わかったような、わからないような説明なんだけど、ということは弔電送付事務事業という名目でトータル 132 時間かかりますよ、と表現していますけれども、これは正しくない、資料 3 の時間とリンクしないということですね。</p> <p>私が先ほどですね、1 時間あたり 1,900 円というのは計算すればすぐわかります。全部 1,900 円で金額換算していますが、それによろしいんですね。</p> <p>(説明者「はい」)</p> <p>で、聞きたいんですが、役場全体としてどれだけ節減できるかというのを換算に使うのは、アワーあたり 1,900 円ですか、それをすべて共通に使っていますか。</p>
説明者	<p>職員の平均単価になります。</p> <p>(D委員「だから、どんな改善の評価をするときに、時間あたり 1,900 円と計算していますか」)</p> <p>この事務事業評価については、1,900 円を採用しています。冒頭言いました通り、この仕組みは今回初めてですので、</p> <p>(D委員「初めてかどうかの問題じゃなくて、要はいろんなコストをね」)</p>
副委員長	<p>今回は 1,900 円という単価を使っているということでもいいと思うんですが。</p> <p>何を問題意識にしたいわけですか。今回は 1,900 円を使っています、それが違うのであれば、次はこうしていただきたい、という提言ならわかりますが、何を言いたいのかがわからない。弔電がなくなると困る方もいるかもしれないわけで、単位のところを問題にするのは、</p> <p>(D委員「もう1点だけ」)</p>
D委員	<p>資料 4 の評価シートは素晴らしいと思います。こういう内部コストまで積算して、事業効果とか節減効果を検証しているこのシートは素晴らしいですよ。資料 3 は正直言いまして、この 4 事業は非常に金額の小さい、やってもやらなくても大した効果がそんなに大きく響かないやつだけ選んで、ここで討議しているんですけれども。</p> <p>例えば、おまつり関係で観光協会に昨年度 1,600 万円の補助金が出ていますが、そういうところには見直しによる効果が何も書いてないんですよ。全部そういう表にして、討議するべきだと思うんですよ。</p> <p>こんな、ちまちました、大変失礼ですが弔電とか 10 万円規模のことをこの委員会で討議するんじゃなくて、財政が非常にひっ迫しているというのであれば、金額の大きい方からやれば財政にも効果が出てくると思うんですよ。こんな 10 万、20 万をここで討議しても大したことないと思うんですよ。</p>
A委員	<p>随分掘り下げていくときりがなくなると思うんです。今回は、No.3、4、7、12 の事業になっていますので、全部終わった時点でそういう発言をされるのが筋だと思います。</p>
委員長	<p>我々のミッションは、No.3、4、7、12 についての意見です。時間がございませんので、No.3、4、7、12 についてまとめてお願いします。</p> <p>効果が少ないという意見もありましたが、小さなところから見直しをしていかなければ大きな効果は出てこないと思いますので、そのほかいかがでしょうか。</p>
副委員長	<p>それぞれの委員からご発言いただくことでいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>では、C委員から。</p>
C委員	<p>要するに、合併して 10 年を過ぎてくると国の交付金も少なくなってくるから、今の事業を一つひとつ見直しをして、必要でないものは廃止していくような形で財源をつくっていきましょう、というのが大きなテーマだと思います。町の方で時間をかけて検討したでしょうから、この方向で良いと思います。</p> <p>(副委員長「No.3、4、7、12 についてすべて」)</p> <p>はい、すべていいです。</p>

B 委員	私も、町の方向性でかまわないと思います。納税貯蓄組合の加入者も、口座振替を自分自身でしているので要らないという声も聞いています。
E 委員	私もこれでよろしいかと思います。No.4 の事業はかかわりがありますが、基本的にはこれでよろしいかと思います。
A 委員	基本的にはこれでよろしいと思いますが、国際交流の設置についてはインバウンドの関係もあり外国の方々が増えているので、世の中の変化に合わせた形で、外国人の方々の文化とか日本の文化とか国際交流の仕組みづくりは行政としても必要になってくると思います。今回はこの方向で良いですが、その部分は残していただければと思います。
副委員長	<p>皆さんと一緒にございまして、方向性に関しては問題ありませんが、資料3の「二次評価での主な意見」の記述の仕方がまちまちです。D評価(事業廃止の検討)の話だけされてしまうと、別のところにひずみが出てしまいます。</p> <p>No.7の国際交流員設置についても、教育は町のビジョンとしても重要なので、代替案を示さないといけないようなことです。議会議事録を見ると、おいらせ町に関しては、国際交流事業はかなり減っています。</p> <p>三沢市、八戸市は国際交流にとっても力を入れている中で、おいらせ町が国際交流に対してどのように考えていくのかをもう少し強く表明に強く前面に出すべきところ。子育て世代の私からすると、新しい人は入ってくるけど教育に関してはおざなりになっている、というところがあります。</p> <p>給食費無償で人を引き寄せるけれども、教育に関しての考え方が宙ぶらりんになっていて、 (委員長「簡潔にお願いします」)</p> <p>一般の人からすれば、国際交流が無くなってしまっただけのアピールになってしまうので資料3の取り扱いには注意した方がいいです。予算がなくてもできるのは教育に力を入れていくことなので、そこは大事に行ってほしいところです。</p> <p>確認したいことは、資料3はどこまで公表されるのか。意見として、一般の人にも説明できるように明確な理由付けをしていただきたい、という確認とお願いです。</p>
説明者	資料3は、本日の委員会用に作成した資料です。このまま外部公表することは考えていません。二次評価での主な意見は、行政評価委員会の主な意見を記載したものです。今後、外部に公表する資料は厳格に資料作りをしたいと思います。
C 委員	参考ですが、ラグビーのワールドカップでは岩手県釜石市の高校生が、ボランティアで外国人に英語で対応した例があるんですよ。町内の中学校や高校では、英語のヒアリングやスピーチをある程度習っているの、1週間から1カ月くらい研修をしてボランティアをしてみたらどうかと思います。
説明者	国際交流のことについて意見をいただきましたが、国際交流事業をやめるのではなく、国際交流員を配置しないという意味です。国際交流事業そのものは続けていくつもりです。
A 委員	継続してほしいし、もっと強化しなければいけないと思います。
説明者	現在は、幼稚園・保育園での英語指導が国際交流員の主な事業で、多文化交流事業を主体的に行えていない状況です。今後は、国際交流員を配置しなくても町が事業を組み込み、町の国際交流協会と連携しながら実施していきたいと考えています。
D 委員	今後これが実現するかいつ頃までに結論を出す予定ですか。

説明者	<p>二次評価が終わり、行政経営推進委員会で意見をいただきました。それを踏まえて、36 全事業について 12 月庁議で意思決定をすることになります。個々の事業で異なりますが、来年度または再来年度からスタートするものもあります。</p> <p>関係団体がかかわる事業は、関係団体と調整・協議に入ります。それを経て、実施しようとしている年度から実施したいと考えています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。事務事業評価については意見を賜ったということで終わりにいたします。</p>
次第 3 行政経営アクションプランの評価・検証	
委員長	<p>次第 3 に入ります。平成 30 年度のアクションプランの取り組みのうち、C 評価のプランについて当委員会での評価・検証を行います。</p> <p>事務局の説明後、アクションプラン所管課の説明を受けた上で、意見を伺います。説明をお願いします。</p>
事務局	<p>総務課の川口です。会議資料 4 ページをご覧ください。</p> <p>(説明資料:会議資料 4～6 ページ)</p> <p>各アクションプランは、所管課から説明いたします。</p>
説明者	<p>総務課の成田と申します。よろしくお願いします。</p> <p>(説明資料:資料 5No.1)</p> <p>アクションプランの進捗状況、取組実績は、平成 29 年度、30 年度ともに未着手であります。これまでの状況と、今年度の実績と課題を踏まえて、アクションプランの見直しをしたいと考えております。赤字部分がプランの見直しの案です。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。すべてのプラン説明後に、評価・検証を行いますので次のプランの説明をお願いします。</p>
説明者	<p>財政管財課の岩崎と申します。よろしくお願いします。</p> <p>(説明資料:資料 5No.2)</p> <p>インセンティブ予算制度の実施要領をご覧ください。この制度は、平成 29 年度に協議し、平成 30 年度から実施したもので職員に周知等を行いました。平成 30 年度中の申請はありませんでした。よって、想定通りの結果が得られなかったとして自己評価をC判定としたものです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。次の説明をお願いします。</p>
説明者	<p>総務課の鈴木です。よろしくお願いします。</p> <p>(説明資料:資料 5No.3)</p> <p>業務量の把握、職員の適正等を踏まえた人事配置を行うために、課ごと、係ごとの業務量を的確に把握する方法について検討を行うということです。大きな目的が定数見直しですので、それに向けて業務量を把握しなければならないということからこのような取組みをしています。</p> <p>問題意識に至った経緯としては、⑧アクションプランの達成指標に月 100 時間以上の勤務者が何人いるか、年次有給休暇を取得できない状況にあるとかそのような部分が各課から意見として挙がってきているため、どういったものが適正かというのを業務量の把握をしなければならないということになりました。</p> <p>他市町村の状況を調べたり、話を聞いたりしますが、各市町村でも方法が違いますし、同じ業務でもやり方が違うので何人が適正ということまでは把握できませんでした。業務量を把握する手法は、県外市町村も調べながら適正な人員配置に努めたいと考えています。</p>

委員長	<p>ありがとうございました。資料 5No.1 からNo.3 まで、1 プラン 10 分を目安に質疑を交えながら委員会としての評価のまとめをしたいと思います。</p>
A 委員	<p>町議会と行政の連携は、この町の場合、町長が一期ごとに変わる事情もあり、なかなか大変だと思うところです。「さらなる新しい手法を検討する」とプランの中にありますが、新しい方向性をお伺いしたいと思います。</p>
委員長	<p>いかがでしょうか。</p>
説明者	<p>他の自治体では、テレビ中継をしているところもありますが、当町としてどのような手法が相応しいのか、議会事務局と調整しながら進めたいと思います。</p> <p>他市町村の取り組みが進んでいるからといっても、慎重に進めなければならない部分もあるので、今後研究していきたいと思っています。</p>
D 委員	<p>このアクションプランは、昨年度の議事録を見ますと委員会から「取り下げることも検討しては」との意見がありました。57 ページに記載の行政経営推進委員会の評価を見ましても、担当課に一任となっています。その結果、この内容を変えてきたのかなど私は推測しています。</p> <p>56 ページ④にある赤字部分で「町民への説明責任を果たす仕組みとして、現状の議会傍聴や議会広報による情報発信にとどまらず」とありますが、私もそのとおりだと思います。非常に情報が少なすぎるんですよ。ホームページを見ますと、定例会が始まる1カ月位前に、町長提案議案はこんなことを議案として提案していますとネットに出るんですけども、あれを見ると教育長を任命するとか、予算はこうですとか、ほんの数行で何を実際に提案して具体的にどういうことを討議するのというようなことがまったくわからないんですよ。</p> <p>私も傍聴しましたが、渡される資料を見ても具体的に何を提案して、どういうことを討議するのかは傍聴に行ってもまったくわからないんですよ。そこで提案ですが、町の資料がいろいろと出ていますが、例えば平成 31 年度の予算を審議する町の議会で、一般会計予算に関する説明書を見ると、150 ページ位ありますけれども、細かくどのように予算を組んでいるのかというのが数値で出てきます。せめて、このくらいの資料を議会が始まる前に、われわれ町民にも示していただきたい。</p> <p>要は、説明責任を果たすとか、公聴を進めるということ掲げるのであれば、今の町長提案の議案というのは、まったく説明責任も何も、箸にも棒にもかからない。ただの議案の羅列なんですよ。であれば、広報もあるし手段はいろいろあると思います。</p> <p>今回、広報おいらせ11月号の中に、議会だより55号が出ているわけですが、今のテーマに役に立つと思うんです。何が書いてあるかというと、平成30年度の決算です。かなり事細かに議会だよりに、議会事務局がいろいろとアシストしながら、議員がまとめたことになっていますけれども、このくらいの情報がないと何を討議するのか傍聴に行っても何もわからないというような形です。資料は、ほとんど項目を羅列する位で、議員の方が発言しても何を討議しているのかが具体的にイメージできないんですよ。広報だとか議会だよりだとか、非常にいいメディアがありますので。それから一番いいのはホームページですよ、あれは無制限ですから。この150ページ位の資料も議会関係資料の一部ですが、簡単に載せられるわけですよ。印刷経費もかからないし、そういう観点でぜひこのテーマを進めていっていただいて、町民によくわかるようなステップアップをしていただきたいなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。プラン 56 ページ④のさらなる新しい手法は、これから研究するということが示されまして、それについて予算説明書レベルのボリュームのあるものを例えばホームページにアップするだとか、そういう形で積極的に町民に公開をしていただきたい、ということで評価をまとめていきたいと思っています。</p> <p>続いて、No.2 について意見はありますか。</p>

D委員	インセンティブ予算制度に興味があります。実は、前回の委員会で激論を交わしましたがけれども、教育委員会がアクションプランの中に参画していないということで、それについては事務局が預かって行政経営本部会議に報告します、ということでしたが何か回答ありますか。そもそも行政経営本部会議は開かれたんですか。
事務局	開催して、そのような意見があったと報告しています。 (D委員「検討しますとか、具体的な回答は」) 意見を報告しただけです。
D委員	実は、自ら教育委員会の事務局に行っているいろいろと確認しました。社会教育・体育課と学務課に、各1時間ずつ。おおげさに言えば、ヒアリングをしてきました。 その中で、結論から言うと教育委員会は所管課ではないけれども、所管課の傘下でいろんなテーマに対してアクションしていますよ、と学務課長が説明しました。 ということで、この間の私の疑問は解けたんですけども、その中で、学務課長からインセンティブ予算についてやっていますよ、去年やりましたよ、という説明があったんですよ。事務局がわかっているかどうかわかりませんが、 (事務局「インセンティブ予算制度は、財政管財課が担当ですので」) 今年2件申請中だというのは、どういう内容ですか。
副委員長	質問の趣旨がよくわかりませんが、どういうことですか。 (D委員「確認してから質問します」) 教育委員会のことと関係ありますか。 (D委員「質問と意見一緒です」) では、教育委員会の話は終わりにしてください。今は質問が主ですから。
D委員	では、端的にこちらから言います。 インセンティブ予算制度を実施していますという内容は、おいらせ町と六戸町が共同でアメリカに中学生ですか、過去に派遣していましたと。それをおいらせ町は取りやめました、その予算が何百万という金額が節減でき、それに対するインセンティブとしてALTを活用して、アメリカに行かなくても国内で三沢市とかそういう外国人がいるような所を利用して、ALTを使った模擬とか代わるような活動をしています、それは実際にしていますと。それがインセンティブ予算制度を活用した事業ですよ。 ここには、残念ながら0件と平成30年度は実績が無いよ、と書いてあるんだけど。学務課長はそうおっしゃっていました。確認します。
委員長	説明をお願いします。
説明者	説明します。今、おっしゃった制度に関しての申請は、先ほど今年度2件の申請がありましたというものに含まれています。 (D委員「そうですか。実際、平成30年度にもやっていると聞いていますけども」) 昨年度行ったものを、今年度申請して来年度の予算に反映させるという制度で、 (D委員「前年度やったということは、すでに予算もとって事業として成り立っているわけでしょう。来年の話じゃないんですよ。すでに実績として、学務課長はそうおっしゃっていましたよ」) なので、今受けていまして、 (D委員「実績として受けているということですか、これから申請をして来年の予算に反映することじゃなくて」) 来年の予算に反映すると、あの、 (D委員「今年度も行っている、平成30年度も行いました、来年度も行わせてくださいという意味での申請ですか」) 平成30年度中にこういうことを行いました、というのを令和元年度に受け付けしま

	<p>した。</p> <p>(D委員「それはわかります。あなたの説明はそれを申請して来年度の予算に反映すると言うから。すでに実績が出ているでしょうと、何か変だねという意味です」)</p> <p>来年度の予算は、今年度中に決まるものなので、</p> <p>(D委員「そりゃそうでしょう。そうじゃなくて、私が言っているのは平成 30 年度実績に挙げられていないんですよ。平成 30 年度の実績として学務課長が行っていますと言っていますので、修正したらいかがですか、実績箇所を直す必要があるんじゃないですか、評価してあげたらいいんです」)</p> <p>書き方がうまくないかもしれませんが、申請件数になっていますので、</p> <p>(D委員「いや、そうじゃない。申請はいいんですよ。来年度のために申請をするのはいいんですけども、平成 30 年度実績に 0 件って書いてあるから。違うんじゃないですか、学務課は頑張っていますよ、教育委員会は頑張っていますよと。1 件って書けばいいじゃないですか」)</p>
説明者	<p>実績は、あくまで申請件数のアクションプランになっています。</p> <p>翌年度に受け付けをする仕組みになっているのは、前年度の決算が出ないと財政効果がわからない。その財政効果をみた上で、実際に付与するインセンティブの額を決めるという制度設計になっていますので、どうしても実績を挙げた取り組みから1年あくという仕組みになります。</p> <p>件数については、あくまで申請件数を意味しますので、実際には平成 30 年度の取り組みかもしれませんが、平成 30 年度内の申請件数は 0 件でしたと。今年度は、申請が 2 件あり、そのうちの 1 件に入っていますということです。</p>
D委員	わかりました。
委員長	そのほかよろしいでしょうか。(「ありません」の声) No.3 について意見はいかがですか。
A委員	このまま進めてもらえればいいと思います。
副委員長	<p>経営学の面から話しますと、業務量を見直す時には優先順位が大事になります。あなたの仕事の中で、町のビジョンに紐づいたものは何ですかという、優先順位をそれぞれ決めていかないと。いろんなことに優先順位があるので、それにそもそも優先順位を立てましょう、というのが経営学の一般的な企業での考えです。</p> <p>ビジョンに合わせて行う、それを1on1ミーティングで上司と部下、いろいろな役職の人たちで評価をしていくというのが一般的な企業になります。おいらせ町の最大のビジョンである基本計画に基づいて、職員の皆さんは動くはずなので、仕事の中でビジョンに一番つながるもの、その業務の割合がその人の貢献度合いになります。</p> <p>そうすることで業務改善やインセンティブに基づいた経営ができるようになり、行政経営という考え方を全体に行き渡せる必要があります。経営学をそのまま行政にというのは難しいと思いますが、ビジョンと優先順位はつけられた方がいいのかな、というのが資料をみる限り思うところであります。</p>
委員長	ほかに意見ありますか。
D委員	<p>基本的なことをお尋ねしますが、前回配布された資料によると、当委員会の設置の目的はこの計画の目標である「住民サービスの向上を続ける行政経営」とうたっています。であれば、3つのアクションプランの評価が出ていますが、まずは何をにおいても「住民サービスの向上を続ける行政経営」という目標に対して、どれだけレベルが上がったか、いつ達成したか、そういうファクターをもって評価しなきゃいけないと思うんですよ。ところが、これを見ると、住民サービスの向上というテーマに対するKPIもほとんどない、具体的な目標だとかそういうのが無い中で評価というのが非常ににくいというか、ベクトルがあってないんじゃないかと。この3つのアクションプランに限り</p>

	<p>ません。全部みると、そういう感じなんです。</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略会議のように、あれは国から押し付けられていますけれども、きちんとした目標を掲げてKPIを定めて誰がみても客観的に評価できるような中身にしていかなないと、何やっているんだろうと。特に、予算編成の検証って実績が○印なんですよ、○印って何を意味しているのと。具体的にわからないですよ。インセンティブ予算制度の実施をみても、平成 29 年度は○印ですよ。この○印ってどういう意味なの。普通、○×だと○は行いましたとか、結果が出ていますとかというのを表すと一般的には思うんですけども。</p> <p>インセンティブはPRしはじめたところで申請が 2 件あったとは聞きましたが、○とか非常にプアなんですよね。KPIで表すべきだと思うんですよね。その方向性は、住民サービスの向上を続ける行政経営というのを目的に掲げている以上は、それが最優先だと思うんです。それをもって、財政基盤を強化しますというプランが住民サービスの向上にどう役立っているのと、そういう基本的なところをお聴きしたいんです。</p>
副委員長	<p>ひとつコメントすると、住民サービスの向上というのは素晴らしい言葉なんですけど、これって無理なんです。住民サービスは違うんです。D委員が求めているものと、私が求めているものは違うんです。それをいかにみんなが納得する形で行うか、というのが大事なんです。実際に住民サービスをKPIでやろうとおっしゃるのは、経済学者も言うんです。前提としたらわかりますが、これをみたらわかるように数値にできないことがとても多いんです。</p> <p>(D委員「副委員長がおっしゃったことも一理あると思います」)</p> <p>D委員が言うことも一理あると思いますが、理解しました、次に向けて頑張っていきたいと思いますというところも大事だと思います。</p>
D委員	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略を見ましたけれども、素晴らしいですよ。あれがモデルケースかなと思います、運営の仕方とか。ひとつには補助金というエサがぶら下がっていて、おいらせ町に限らず全国で一生懸命やった結果だと思います。あれはあれで評価しています。</p> <p>(委員長「簡潔にお願いします」)</p> <p>それをぜひこういうアクションプランにも反映していただきたい。副委員長からKPIをつくるのは難しいと言われたけど、まあ難しいテーマもあります。しかしね、総合戦略をみると、ほとんどKPIを作ってやっているんです。それに向かって、いつまでに何をどう達成するかということを検証しています。そういうやり方が当委員会のアクションプランにも必要だと思うんです。</p> <p>難しい面もあるでしょうけど、ひとつも無いというのはどうもね。前回の委員会で、すべてのアクションプランをもらいましたけれども、○印が何を意味しているのかわからない。あまりにもひどすぎると思うんですよ、KPIを作るのが難しいというのは確かにありますけれども、それでは達成したのか達成していないのかも慎重にできないですよ。これに限らずあります。ぜひ、事務局以下ご検討いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。(D委員「もう 1 点」)</p> <p>かわりのあるものですか、別件ですか。(D委員「別件です」)</p>
D委員	<p>行政経営アクションプランの評価に関してですが、前回の資料を見ますと、ひとつのキーワードは、実行するにあたって毎年度PDCAサイクルをまわすと。しかも、毎年度まわすとあるんだけど、いろんなテーマがあってどのようにまわっているのかなと非常に疑問を持っています。</p> <p>毎年度だから、4 月から始まって 3 月にはPDCAをまわさなきゃいけないわけです。この当委員会の予定表を見ても、今頃評価しているわけです。3 月にはそれぞれのアクションプランはその年度の結論が出て、来年度は何をやるか、ということ</p>

	まで来ていなければならないと思うんだけど、もしそれができているのであれば今頃の評価じゃなくて、遅くとも6月とかその頃にはこの委員会を開いて、平成30年度はどうでしたと、1年前を振り返ってやらないと。今頃やっても半年以上過ぎているわけですよ。今の時点で評価しても、お茶が冷めちゃうというか。
委員長	はい、ありがとうございました。
D委員	最後の質問です。事務局は、どういう形でPDCAサイクルを回しているの、タイミングを教えてください。
事務局	次回委員会にもかかわりますので、次第4今後の予定を含めて説明してよろしいですか。
委員長	はい、どうぞ。
次第4 今後の予定	
委員長	今後の予定について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>会議資料6ページに、行政経営アクションプランのスケジュールを記載しています。4月から5月は異動して間もないということも考慮して、1回目の進捗状況の確認と今年度の取組調査を6月に実施しています。12月に2回目の進捗確認、3月に3回目の進捗確認と定期的に確認し、状況を確認しながら取り組みを進めていく意識を促しています。</p> <p>今年度は、アクションプランの評価を案件とする委員会が11月になったのは、今年度第3期委員会を発足することになりましたので、第1回委員会でアクションプランの概要等をご説明してからの方がよろしいかと思い、第2回の案件といたしました。委員の皆さんの任期が2年目となる令和2年度は、アクションプランの評価・検証を案件とする委員会の開催を7月から8月頃と予定していますが、6月から7月頃に開催できるように検討したいと思います。</p> <p>今年度は、第3回の開催を予定していますが、政策推進課の事業に関連する案件のため、方針が決まり次第、日程調整という運びとなります。</p> <p>今後の予定について以上です。</p>
委員長	ありがとうございました。今後の予定を含めて説明がありましたので、以上をもちまして本日の委員会を終了します。事務局にお返しします。
閉会	
事務局	本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。報酬の振り込みは、担当から別途お知らせします。修礼をもちまして委員会を閉会しますのでご起立ください。
一同	ありがとうございました。

【了】